別添資料11

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表:　2022年　3月　2日

事業所名　帝塚山HUG組　　保護者等数（児童数）　17　回収数　11　割合　65 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	5				ご利用の人数が多い場合は、屋内や屋外でそれぞれ過ごす時間を入れ替えて過ごしたり、遊ぶスペースを区切ったり、スペースが必要なおもちゃで遊ぶのを控えるなど工夫を
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1		1		職員の配置数は基準以上であるものの、送迎の関係から一時的に職員が少なくなるため、あまりにも送迎時に少なくなる場合は、送迎時間の調整を行う。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2		1		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	2				活動プログラムの種類を増やしていくために更なる研修の機会や参考書を利用していく。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	2	3	今はコロナで難しいだろうなと思っています。	タイミングや学校の事情もある為、コロナウイルス感染症の勢いが収まれば、公園などでも積極的に交流を持っていこうと考えている。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11					
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3	2	3	今はコロナで難しいだろうなと思っています。	保護者会まではいかないものの、何らかの形で保護者同士が交流できる機会を模索していく。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		1	1		適宜対応させていただいているものの、今後は全職員に確実に周知するよう紙面に残し、再度起こらないよう注意喚起
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11					

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1	1	2		ホームページはあるものの行事予定など掲載はしていないので、今後は活動記録や行事予定なども記載する。
	14	個人情報に十分注意しているか	10			1		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	1	1	2		説明する機会を特別に設けているわけではなかったので、定期的（モニタリングの時期など）に周知す
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1	1	4		参加できなかった児童にもプリントや地図などで避難場所や避難経路、決まり事などを伝えていく。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11					
	18	事業所の支援に満足しているか	9	2				定期的（モニタリング時など）に満足度に関するアンケートに答えてもらい、改善点を検討していく機会などを作っていく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。